

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 小川 充則		
健福-56	実施事業	学校体育施設開放事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため。
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・地域に身近な学校の体育館・校庭・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	24,384	23,531	当初予算(千円)	25,883		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	246	215	その他	450		
	一般財源	24,138	23,316	一般財源	25,433		
事業経費運営	人員配置数	0.4	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,158	4,025	人件費(千円)	3,940		
	総事業費(千円)	27,677	27,556	総事業費(千円)	29,823		
	市民1人当りの経費(円)	157	156	市民1人当りの経費(円)	169		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 学校体育施設開放運営協議会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・大船中学校のプールの開放について、その手法を検討し、資機材の配備については現状の予算の範囲で行う。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も地域の学校体育施設を開放することで、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供していく。
-------------------	----------------------------------------------------------

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 持続的な運営のため、受益者負担の導入が必要である。 開放用品については相当の年数が経過したものもあり、それらの現況を再確認し、更新の可否やスケジュールを検討する必要がある。 校庭の夜間照明設備は、引き続き劣化が進んでいる照明器具から順にLEDへの更新を行う。 プールの開放日数について、利用者の多少の偏りなどを検証し、見直す必要がある。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市立小中学校の校庭・体育館・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。 校庭の夜間照明設備は、劣化が進んでいる照明器具から順にLEDへの更新を行った。 受益者負担については、試算したところ費用を徴収するための経費に対して収入が上回らないこと、又、市として同じ学校開放である多目的室(教室)の開放については受益者負担を求める検討をしておらず、平等性の観点で疑問が生じたため、保留となった。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 市民による自主的な運営を継続するため、学校体育施設開放運営協議会・学校・利用団体との意思疎通を図る。 市民の利用時に発生した学校施設の破損への対応について、整理する必要がある。 持続的な運営のため、受益者負担の導入の検討が必要である。 校庭の夜間照明設備は、引き続き劣化が進んでいる照明器具から順にLEDへの更新を行う。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	学校開放校数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	寒川町	逗子市	三浦市	
他市実績	25校	54校	19校	43校	36校	73校	8校	8校	11校	
比較事項	プール開放日数(延べ日数)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	寒川町	逗子市	三浦市	
他市実績	345日	173日	318日	280日	358日	325日	90日	0日	82日	
比較事項	学校開放屋外運動場夜間照明設備設置校									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	寒川町	逗子市	三浦市	
他市実績	2校	3校	4校	9校	3校	0校	2校	0校	0校	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	学校開放は身近な場所でスポーツの場を市民に提供するとともに、スポーツ施設の整備状況が充分とはいえない本市の実情を補完する重要な事業であり、特にプールの開放は他市と比較しても開放延べ日数が多くスポーツの場の提供が充分にできていると考えている。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学校体育施設開放利用者数(プール以外)						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
市民スポーツの振興を図るため	目標値	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000				
	実績値	307,362	320,509	322,271	303,106	300,861					
	達成率	87.8%	91.6%	92.1%	86.6%	86.0%					
指標の内容	学校開放団体利用数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
市民スポーツの振興を図るため	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000				
	実績値	11,336	11,875	11,537	11,254	11,447					
	達成率	75.6%	79.2%	76.9%	75.0%	76.3%					
指標の内容	学校体育施設開放利用者数(プール利用)						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
市民スポーツの振興を図るため	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000				平成27年度から開放延べ日数を400日から345日に短縮した。また、平成30年度(2018年度)は荒天や設備の故障により延べ18日間休場した。
	実績値	28,511	22,376	21,751	19,600	16,135					
	達成率	95.0%	74.6%	72.5%	65.3%	53.8%					
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設開放は、市民が身近な場所でスポーツに取り組めるよう場を提供するものであり、利用団体の活動内容の情報を地区住民に周知する方法を検討し、利用者数や利用団体の構成員の増加を図り、市民のスポーツ実施率の向上につなげていく。 プールの利用者数は、天候不良(雨天、気温の低下)による減少であり、天候次第では増加するものと考えている。 										